

経営支援を行うすべての方へ

経営支援者向け 研修コンテンツのご案内

現場のニーズに寄り添う HAL の実践型研修

詳細についてはお気軽にお問い合わせください。
御見積書もご要望に応じて作成いたします。

株式会社エイチ・エーエル 営業企画事業部
TEL: 050-8883-1919 FAX: 050-8883-1920
e-mail: hal-eigyou@hal-j.co.jp



伴走支援の力を、次のステージへ

地域の中小企業・小規模事業者を支える各地の支援機関の職員様は、まさに“地域経済の伴走者”です。株式会社エイチ・エーエルでは、これまで全国の支援機関の皆さまと共に、経営支援サービスの実行支援や伴走型支援の仕組みづくりに取り組んでまいりました。時代が大きく変化する中で求められているのは、「支援者自身の成長」と「支援手法の進化」です。

ご案内する研修コンテンツは、地域支援の最前線で活動される職員の皆さまが、支援の“型”を学ぶだけでなく、“自ら考え、提案し、共に歩む”力を身につけることを目的としています。

支援者の成長が、地域企業の未来をつくる

地域の中小企業・小規模事業者を支える支援機関の職員には、経営課題の整理、事業計画策定、販路開拓、資金繰りなど、多岐にわたる相談に対応する力が求められます。しかし、経営環境は急速に変化しており、従来の支援手法だけでは十分に応えられない場面が増えています。

最新の行政施策や経営知識、支援ツールの活用法、伴走支援の進め方などを体系的に学び、支援者としての判断力・提案力を養い、事業者の課題解決力の向上につながる研修をご提案します。

目 次

※各セミナーのカリキュラムについては、ご要望に応じて変更可能です。
お気軽にご相談ください。

経営支援者向け研修

RESAS×jSTAT MAPで学ぶ地域分析実践研修…P2

経営相談に求められる基礎知識の習得研修…P2

経営状況(財務)分析の基礎研修…P3

経営革新計画・経営力向上計画を事例とした事業計画策定支援研修…P3

企業ライフステージ研修…P4

創業者支援研修…P4

事業承継支援研修…P5

後継者育成支援研修…P5

災害復興現場での経営支援「能登に学ぶ」事業継続力強化

「能登に学ぶ」災害に備えた事業計画づくり研修…P6

「能登に学ぶ」心理的ケアから復興に至る伴走支援実践研修…P6

事業継続力強化計画作成支援研修…P7

経営支援に有効なDXツールの基礎

支援現場で生かす デジタルリテラシー向上研修…P8

DX推進のための生成AI活用研修…P8

経営支援生成AIシステム「Keytas」を用いた傾聴と対話研修…P9

経営支援者向け研修

RESAS×jSTAT MAPで学ぶ地域分析実践研修

地域経済の現状と今後の動向を検証するためには、客観的なデータの活用が欠かせません。

本研修では、RESASとjSTAT MAPを用いて、地域の人口動態や産業構造を理解するとともに、商圈や顧客動向を立体的に把握する方法を学びます。操作方法だけでなく、データの読み解き方や支援現場での活用ポイントを体系的に整理し、地域課題の抽出から施策検討、さらには個社支援への応用まで、一連のプロセスをわかりやすく解説します。

■地域分析の基本理解

- ・地域分析が必要な理由
- ・RESASとjSTAT MAPの特徴と使い分け

■RESASで地域の全体像をつかむ

- ・主要データの見方・地域の“強み・課題”的抽出方法
- ・自地域の特徴を把握する手法

■jSTAT MAPで商圈・顧客像を把握

- ・基本操作と小売・飲食などへの実務的活用例
- ・対象地域の商圈と顧客特性を整理

■経営者へ分析データの伝え方

- ・数字や地図データを伴走支援へつなげる方法

RESAS(地域経済分析システム)とは

地域経済に関する様々なデータ(産業の強み、人の流れ、人口動態など)をグラフで分かりやすくマクロの視点で「見える化(可視化)」したシステムです。

jSTAT MAP とは

国勢調査をはじめとした公的な統計データをもとに、地域の人口構成や世帯特性、商圈などを地図上で分かりやすくミクロの視点で「見える化」するシステムです。

経営相談に求められる基礎知識の習得研修

昨今の経営環境変化により、事業者からの相談内容は多岐にわたり、支援機関に求められる経営支援の範囲も広がっています。また、国や県・市から施行されている中小企業・小規模事業者を支援する多種多様な施策も把握しておく必要があります。

本研修では、中小、小規模企業白書データの理解から最新施策の把握、事業計画策定支援の基本、そして事業者の想いを引き出す質問力まで、経営相談の現場で活かせる基礎知識を解説します。

■中小、小規模企業白書からみる企業情報

- ・最新データから業種ごとの傾向・
課題・強みを読み取る

■国等から発表されている施策と 最新施策情報

- ・国・県・市が行う支援策の全体像を整理する

■経営支援の場面で活用できる 施策について

- ・創業・設備投資・販促など、場面別の使い分け

■事業者への伴走支援に求められること

- ・伴走支援の基盤となる相談しやすい
関係・環境づくりのコツ

■経営分析(SWOT分析、3C分析、 財務分析、事業計画策定の基礎)

- ・現状を整理する基本フレームワーク

■経営支援に必要となる質問力

- ・経営者の想いや本音を引き出す質問・
気づきを促すための聞き方

経営支援者向け研修

経営状況(財務)分析の基礎研修

経営支援を行ううえで、決算書を読み解き、分析するスキルは欠かせません。適切な財務分析を行うことで、客観的に事業者を見ることができ、事業者自身も気付いていない経営課題の見える化をし、事前に対策を講じることも可能となります。

本研修では、決算書の構造を理解し、財務分析の基本となる5つの分類(収益性、安全性、生産性、成長性、効率性)を中心に解説します。

■決算書の構造を知る

～貸借対照表と損益計算書の見方～

- ・貸借対照表、損益計算書の基本的な見方

■損益計算書の構造と分析

- ・売上・経費・利益のつながりの把握

■財務分析における5つの分類解説

- ・「どれだけしっかり利益を出せているか」等

■キャッシュフロー計算書が示すこと

- ・利益は出ているのに資金が不足する理由

■損益計算書と資金繰り表の違いを知る

- ・利益とお金の動きの違い、
資金繰りを管理に活かす方法

経営革新計画・経営力向上計画を事例とした事業計画策定支援研修

経営相談の現場では、事業者の“想い”を整理し、将来の方向性を描き、事業を継続・発展させていく将来の姿と一緒に描く力が求められます。

本研修では、中小企業等経営強化法の概要や経営革新計画・経営力向上計画の種類を解説し、経営理念やビジョンの確認、内部・外部環境の分析、自社の方向性の検討まで、事業計画策定に必要な基礎を体系的に学びます。

■中小企業等経営強化法について

- ・法律の目的と認定支援機関の役割
- ・経営革新・経営力向上など各制度との関係性

■経営革新計画と経営力向上計画について

- ・それぞれの特徴・メリット・対象となる取り組みとは

■事業計画を策定することの意義やメリット

- ・将来の方向性や事業の軸をつくる重要性

■経営理念・ビジョン・目標の確認

- ・理念・ビジョンが事業計画の基盤となる

■事業計画につながる“道筋”をつくる

- ・自社の強み・弱み(内部)と市場・競合の動き(外部)を整理する
- ・分析結果をもとに何に取り組むべきかを導き出す

経営支援者向け研修

企業ライフステージ研修

「創業期」「成長期」「安定期」「承継期」等、様々な経営ライフステージに応じて抱える課題は変化していきます。売上、資金繰り、販路開拓… 経営者の悩みが尽きることはなく、その悩みを解消するために、多種多様な経営支援に関する知識・ノウハウが必要となります。

本研修では、日ごろ多くの中小企業支援を行っている専門家が、経営ライフステージごとに必要とされる経営支援のポイントを解説します。

■創業期

- ・創業者の想いを形に変えるビジョン整理
- ・事業コンセプト作成資金計画と
販路開拓の初期設計伴走型の創業支援ポイント

■成長期

- ・経営分析と経営戦略の策定方法数値に
基づく経営判断マーケティング
- ・組織戦略中期計画の構築ポイント

■ 安定期

- ・企業価値の最大化と持続的成長
既存事業の最適化リスク管理と人材育成

■ 承継期

- ・経営資源別に事業承継知識を
身に付ける人・モノ・資金・知的資産の承継
- ・後継者育成と組織浸透事業承継
計画の基本ステップ

創業者支援研修

創業者の不安や疑問に寄り添い、事業の立ち上げを後押しするためには、支援者自身が創業プロセスの流れや指導の勘所をしっかりと押さえておくことが欠かせません。

本研修では、事業コンセプトの整理方法、マーケットの考え方、数値計画の基本など、創業支援に必要な基礎を体系的に学びます。また、創業者との対話を通じて、アイデアを具体的な計画に整理するヒアリング力も養います。

■中小企業白書から見る創業、廃業の関係

- ・公的支援機関にとって創業支援が
必要な理由と役割

■融資に必要なビジネスプランの策定方法

- ・事業コンセプトのブラッシュアップ
- ・販売計画のいろは

■創業者が直面する主な課題

(販路・資金・人材)

- ・事業継続で必要な経営資源を考える
- ・事業発展で必須となるマーケティング

■創業時に活用できる資金調達手段

(融資・補助金)

- ・創業者が使える各補助金等の解説

■5W2Hを明確にするヒアリング技術

(夢から計画へ)

経営支援者向け研修

事業承継支援研修

地域の事業を次世代につなぐためには、早期相談の促進と、経営者の想いに寄り添った丁寧な対話が欠かせません。

本研修では、事業承継の基本的な流れ、後継者不在の背景、支援者として押さえておくべき確認ポイントを整理し、相談現場で活用できる実践的な支援スキルを学びます。承継計画の策定方法や支援のポイントを学ぶだけでなく、演習を通じて現場で活用できる伴走スキルも養います。

■中小企業白書から見る

事業承継が抱える課題

- ・開業・廃業率と事業承継のタイミングを知る

■公的支援機関職員に求められる役割

- ・企業の状況だけでなく経営者の人柄を知ることも重要

■承継の種類

(親族承継、従業員承継、M&A等)

- ・後継者不足による多様な事業承継の形を知る

■経営者との対話・課題抽出のポイント

- ・事業を引き継ぐためには現経営者の自己開示から

■承継計画の策定支援

- ・事業承継計画は現経営者と後継者の共同作業

後継者育成支援研修

円滑な事業承継には、単に後継者を決めるだけでなく、次世代経営者が自社の強みを理解し、経営判断ができるようになるまでの「育成プロセス」が欠かせません。

本研修では、後継者に求められる視点や能力、育成の進め方、支援者が押さえるべき対話ポイントを整理し、日々の相談業務に生かせる実践的な支援方法を学びます。育成ステップや計画策定のポイントを理解し、演習を通じて現場で活用できる具体的な指導スキルを養います。

■後継者育成の重要性と課題

- ・中小企業白書から見る後継者に求められるスキル
- ・失敗する後継者の像

■支援機関職員に求められる役割

- ・先代の想いを後継者に伝える仲人役

■育成のステップ

(意識改革、スキル習得、実務経験)

- ・後継者の決意が次の時代を創造する

■経営者と後継者の対話支援

- ・会話の議題づくりを提供することが大切

■計画策定支援から実行

- ・次世代のリーダーに将来像から
行動を促す伴走支援

災害復興現場での経営支援 「能登に学ぶ」事業継続力強化

「能登に学ぶ」災害に備えた事業計画づくり研修

能登半島地震の支援現場では、事業者が直面する課題は「資金や設備」だけでなく、“創業の想い”や“地域とのつながり”が揺らぐ心理的なダメージであることが見えてきました。

本研修では、能登での支援の学びを踏まえ、災害に備えた事業継続力強化計画の策定と自社の存在意義・地域との関係性を見つめなおすプロセスを体験します。「地域にとって事業者が果たす価値」を再確認し、復興・成長に向けた計画づくりを解説します。

■能登の支援現場から見えた

経営者の心理と事業復興の実態

- ・逆境の中でそれでも前に進む経営者の決意

■創業の想い・地域とのつながりの再確認

- ・逆境の時こそ、創業時の想いを巡らせる
　　経営者の志とは

■災害に強い企業になるためのポイント

- ・平時から準備しとくことが重要な防災・減災対策

■事業継続力強化計画策定の支援方法

- ・企業の経営資源を思い浮かべ
　　策定する過程の重要性

■地域への価値提供を軸とした

アクションプランづくり

- ・地域企業の存在・その地域であるための証

■地域支援機関として

実践するべき防災減災対策



「能登に学ぶ」は石川県庁様のご了承をいただき、「能登・金沢事業者支援センター」をご利用いただいている支援管理システム(Bizミル)からの情報や、事業者の皆様の生の声をもとに構築しております。支援機関の皆様におかれましても、地域事業者のために“能登から学べること”は多いのではないかと存じます。本研修を通じて、今必要とされる支援の在り方について、一緒に考えるきっかけになれば幸いです。

石川県庁様ならびに各地から応援に来られている支援機関の皆様、日頃より多くのご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

「能登に学ぶ」心理的ケアから復興に至る伴走支援実践研修

能登事業者支援センターの現場では、経営者の相談内容は時期によって大きく変化し、初期の心理的混乱から復興期の具体的な事業計画支援へと移行する様子が明らかになりました。

そこから見えたのは、復興の根底を支えるのは経営者の強い想いであり、支援者にはその想いを「傾聴と対話」で引き出し、支援内容に反映する力が求められるということです。

本研修では、経営支援システム(Bizミル、Keytas)を活用した対話技法や支援履歴を活かした継続支援の仕組みなど支援機関が実践すべき伴走支援の要点を解説します。

■能登の支援から見えた経営者の

心理変化と支援ニーズの特徴

- ・経営支援システムに蓄積されたデータの分析結果

■経営者の想いを尊重し、引き出すための

傾聴と対話(Keytas活用)

- ・AIにできる支援と人間にしか
　　できない経営支援がある

■支援履歴(カルテ)を活用した

継続支援の仕組みづくり

- ・DX時代の新たな経営支援のカタチ

■補助金支援だけに偏らない

“伴走支援”的進め方

- ・経営者の価値観(アイデンティティ)を
　　知ることがすべて

■支援者としての災害対応・

復興支援プロトコル

- ・平時の時だからこそ準備すべきこと

災害復興現場での経営支援 「能登に学ぶ」事業継続力強化

事業継続力強化計画作成支援研修

自然災害や感染症、サイバー攻撃、サプライチェーンの混乱など、事業環境の不確実性が高まる中、事業者が“もしもの時”に備えるための計画づくりはますます重要になっています。

本研修では、中小・小規模事業者が事業を継続するために必要なBCPに関する基本的な考え方を学ぶとともに、事業継続力強化支援計画の認定申請の考え方について、事象と脆弱性を使った考え方を元に災害・被害想定と対策・取組みの記入方法について解説します。

■BCPの基本的な考え方

- ・事業が止まらないようにするための優先順位
- ・被害を最小限にするための事前準備

■「BCP」と「事業継続力強化計画」の違い

- ・小規模事業者向けの制度設計
- ・認定を受けることで得られるメリット

■小規模事業者の防災、減災対策

- ・日常からできる備蓄・設備点検・従業員対応の基本
- ・自社の立地・業種に応じた現実的な対策
- ・地域の災害リスクを知る

■事業継続力強化支援計画に関する事項

- ・事象(災害等) × 脆弱性(弱点)で
本当に必要な対策を整理する

経営支援に有効なDXツールの基礎

支援現場で生かすデジタルリテラシー向上研修

事業者支援の現場では、SNS・クラウドツール・オンライン情報の扱いなど、日々の相談対応に必要なデジタル知識が広がっています。

本研修では、支援者自身がデジタルを正しく理解し、経営指導や日々の業務にどう活かすかを学びます。最新の「デジタルスキル標準(DSS)」のポイントを押さえつつ、実際の支援事例や現場での課題対応を通じて、デジタルを理解し、支援現場で活かす力を身につけていただきます。

■デジタルリテラシーとは何か

- ・DXやデジタル化の基本概念
- ・デジタルスキル標準(DSS)の概要

■事業者が抱えるデジタル課題

- ・事業者が陥るデジタルへのつまずき
- ・事業者のデジタルレベルに合わせた支援アプローチ

■支援者に求められるデジタル活用スキル

- ・業務の中で身に付けておきたいデジタルスキル
- ・相談対応・ヒアリングのポイント

■支援現場で活かす実践ワーク

- ・デジタル課題に対する提案プランを作る

DX推進のための生成AI活用研修

デジタル化を進める上で、生成AIは業務の省力化や支援の質を高めるための心強いツールとなりつつあります。

本研修では、DXに向けた第一歩として生成AIの基礎から、情報収集・文書作成・アイデア整理など、日々の支援業務に生かせる実践的な使い方を学び、生成AIを上手に“扱う”方法を解説します。

■生成AIとは

- ・文章・画像・要約などを自動生成するAIの基本
- ・ChatGPTをはじめとした主要サービスの仕組みを知る

■生成AI活用のトレンド

- ・業務効率化・情報収集・企画立案などの利用が増えている背景

■生成AI活用のメリット・デメリット

- ・業務時間の削減・アイデア発想・文書品質向上につながる利点
- ・誤情報や著作権などのリスクを正しく理解する

■実践ワーク

- ・相談対応・文書作成のプロセスを体験
- ・AIを活用した支援現場での活用方法

経営支援に有効なDXツールの基礎

経営支援生成AIシステム「Keytas」を用いた傾聴と対話研修

経営相談の現場では、経営者の言葉の奥にある“本当の課題”を引き出すために、傾聴力と対話力が欠かせません。本研修では、経営支援生成AIシステム「Keytas」の機能を活かし、相談内容の要点整理や質問案の生成など支援者自身の対話スキルを高める方法を学びます。経営者の想いを丁寧に受け止め、より質の高い伴走支援につなげていく実践的な手法を解説します。

■経営発達支援計画の共通理解

- ・経営発達支援計画の目的と
商工団体に求められる役割

■経営力再構築伴走支援モデルとは

- ・経営力再構築伴走支援モデルの
概念を基にした支援とは

■中小・小規模企業白書から見える

- #### 施策の変遷と概要
- ・白書データから今の中小企業が
抱える課題を読み取る
 - ・支援現場で押さえるべき施策の着眼点

■Keytasの基本機能と支援現場での使い方

- ・要点整理・質問生成・分析支援など基本機能
- ・情報管理・入力の注意点
- ・傾聴と対話に活かしたKeytasの活用

Sharpen more

人を元気に、
企業を元気に、
地域を元気に。

株式会社エイチ・エーエル

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-18-1 20階
WeWork Hareza池袋

TEL: 050-8883-1919

FAX: 050-8883-1920

e-mail:hal-eigyou@hal-j.co.jp

